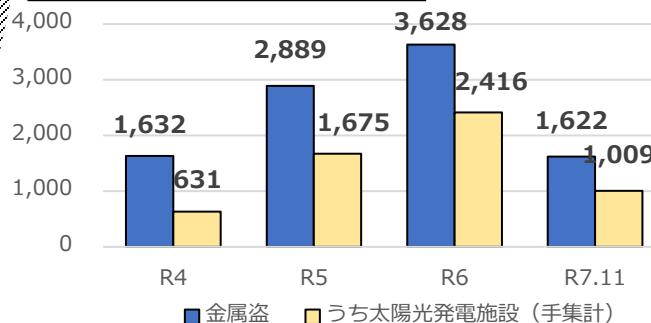




金属類を対象とした窃盗事件の発生状況

1 金属盗の発生件数（暫定値）



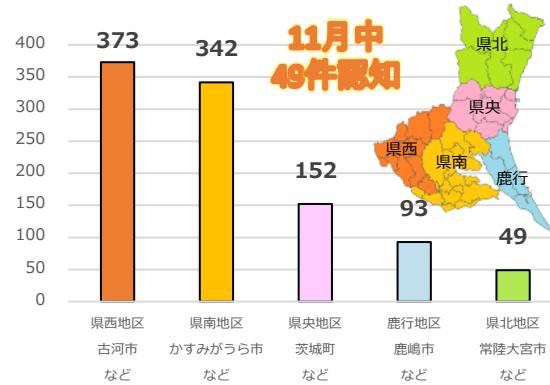
茨城県は、金属盗の発生件数が全国最多

発生件数は、昨年同時期 約53%減少

太陽光発電施設での被害が 約62%を占める

太陽光発電施設関係の発生状況

2 令和7年11月末の地域別の発生件数（暫定値）

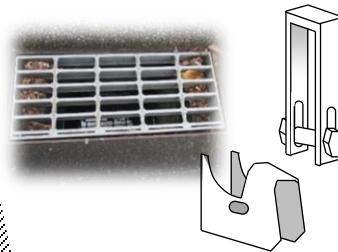
県西・県南地区で約7割
小規模太陽光発電施設でも発生

金属盗等の現状と対策

グレーチング盗難事件に注意！

11月中、県南地域を中心に道路上のグレーチングを狙った盗難事件が連続発生しています。

グレーチングの盗難防止対策には、グレーチングクリップと呼ばれる連結する部品を取り付けることが有効ですので、道路管理者の方は対策をお願いします。

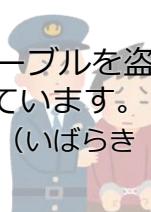


金属盗対策、推進中！

警察では、11月中、銅線ケーブルを盗んだ窃盗事件の犯人を検挙しています。

詳細は、県警HP・防犯アプリ（いばらきポリス）をご確認下さい。

※ 情報は随時更新



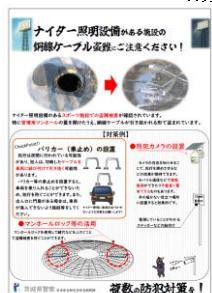
斎場に対する銅線ケーブル盗が発生！

県内では、太陽光発電施設の他に、スポーツ関連施設や運動公園などの銅線ケーブルを狙った窃盗事件が発生しています。

11月上旬には、県北地域の斎場施設において、マンホールの蓋が開けられ、地中埋設の銅線ケーブルを盗まれ、復旧まで利用停止となる事件が発生しています。

地中埋設の銅線ケーブルの盗難防止対策には、マンホールロックの活用やバリカー呼ばれる車止めの設置が有効です。

施設管理者の方は対策をお願いします。



主な被害品とは

・銅線・銅管



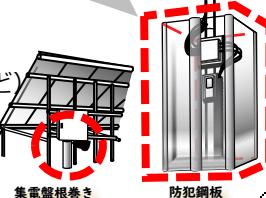
・グレーチング



・敷鉄板

・触媒
・橋などの鉄板
・銅像など

ケーブル露出部分が切断されやすいため、物理的に切られたい対策をお願いします。



太陽光発電施設被害抑止対策

複数対策が有効です！



- ・フェンスセンサーやワイヤーセンサーの導入（異常時に通知を行うもの）
- ・機械警備の導入（ケーブル切断などの異常を感知し、通知を行うもの）
- ・警報装置の設置（音や光で犯人を威嚇し、周囲に異常を知らせるもの）
- ・引込柱や集電箱へのフェンスやカバーの設置（ケーブル切断対策）
- ・ケーブルが引き抜かれないための対策（埋没・ケーブル管内の固定など）
- ・防犯カメラ（AI・警報機能付き）などでの夜間監視体制の強化
- ・アルミケーブルの導入
- ・センサーライトなどの照明機器の設置